

平成16年度感染症報告事例のまとめ（前回報告分以降）について

- 1 平成17年1月1日報告分以降、報告（新規及び追加）があった感染症報告（疑い事例を含む。供血者からの情報により開始した遡及調査によるものを除く。）は、輸血用血液製剤60件、血漿分画製剤4件である。
輸血用血液製剤の内訳は、

(1) B型肝炎報告事例：	29
(2) C型肝炎報告事例：	22
(3) HIV感染報告例：	1
(4) その他の感染症報告例：	8
- 2 B型肝炎報告事例
 - (1) 輸血前後に感染症検査でHBs抗原（又はHBV-DNA）が陽転した事例は25例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は12例）。
 - (2) 血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性の事例は1例。
 - (3) 輸血後に死亡（原疾患又は他の原因による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は1例（劇症化例含む。）である。
- 3 C型肝炎報告事例
 - (1) 輸血前後に抗体検査（又はHCV-RNA）が陽転した事例は20例（うち、輸血後NATで陰性又は輸血前後で陽性は7例）。
 - (2) 使用した血液製剤を提供した献血者の保管検体の個別NAT陽性事例は0例。
 - (3) 輸血後に死亡したとの報告を受けた事例は0例。
- 4 HIV感染報告事例
HIV感染報告疑い事例は1例であるが、WB検査で（±）、輸血後HIV-NAT及び供血者個別NAT共に陰性。
- 5 その他感染症報告事例
 - (1) 細菌等感染報告事例において、血液製剤を提供した献血者の保管検体の無菌試験陽性事例は0例である。
 - (2) E型肝炎感染疑い事例は1例であるが、輸血後HEV-NAT及び供血者個別NAT共に陰性。
 - (3) 輸血後に死亡（原疾患による死亡を除く）したとの報告を受けた事例は0例である。
- 6 血漿分画製剤での報告事例
 - (1) 前回報告で調査中であった人血清アルブミン・フィブリノゲン加第13因子は、投与との関係なしとして報告が主治医により取り下げられた。
 - (2) 新規あ3例については、原料血漿のNAT陰性、ウイルスクリアランスも確認している。

輸血によるHBV感染報告例(疑い例を含む。)

FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年代	原疾患	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※
2005/1/4	2005/1/19	新鮮凍結人血漿	男	30	消化器疾患	04/05		HBsAg(+) HBeAg(-) HBeAb(-) (04/11①) HBsAg(-) HBeAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (04/12②)	陽性(輸血後)	陰性		医療機関報告あり	24単位	4/12	12本の原料血漿、12本の赤血球MAPを製造。	原料血漿は全て使用済み。赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。
2005/1/6	2005/1/19	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	男	70	血液腫瘍	04/10- 04/12	HBsAg(-) (04/10)	HBsAg(-) HBeAg(-) (04/11①) HBsAg(-) HBeAb(+) HBeAg(-) HBcAb(+) HBV-DNA(-) (05/1②)	陰性(輸血後)	陰性			12単位 55単位 20単位	7/23	15本の原料血漿、11本の赤血球MAP、13本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は9本確保済み。新鮮凍結血漿8本確保済み。	原料血漿は6本使用済み。赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。新鮮凍結血漿は、5本医療機関供給済み。供給されたうち未使用の1本は回収済み。
2005/1/7	2005/1/19	人赤血球濃厚液	女	<10	消化器疾患	04/08	HBsAg(-) HBeAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(-) (04/08)	HBsAg(+) HBeAb(+) HBeAg(-) HBeAb(+) (04/9①) HBsAg(+) HBeAb(+) HBeAg(-) HBeAb(+) HBV-DNA(-) (04/11②)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	陰性	乾燥抗HBs人免疫グロブリン HBcAb(+) HBeAb(+) HBeAg(-) HBeAb(+) の者から肝移植を受ける 肝移植ドナー検体 HBsAg(-) HBV-DNA(-) (04/11②)		2単位	1/1	1本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は全て確保済み。	
2005/1/12	2005/1/26	新鮮凍結人血漿 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	20	血液疾患	04/10	HBsAg(-) HBeAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(-) (04/10)	HBsAg(+) HBeAb(-) HBeAg(-) HBeAb(-) (05/01①) HBsAg(+) HBeAb(-) HBeAg(+) HBeAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (05/01②)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陽性(1) 陰性(14)			20単位 6単位	2/15	7本の原料血漿、11本の新鮮凍結血漿、12本の赤血球MAPを製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿3本確保済み。	赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。新鮮凍結血漿8本供給済み。
2005/1/17	2005/1/26	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	04/12	HBsAg(-) (02/9)	HBsAg(+) HBeAg(+) HBeAb(-) HBcAb(+) (05/1①) HBsAg(+) HBeAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (05/2②)	陽性(輸血後)	陰性			30単位	3/3	3本の原料血漿を製造。	原料血漿は使用済み。

2005/1/26	2005/2/8	人赤血球濃厚液 人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	04/04- 04/08	HBsAg(-) (04/8)	HBsAg(+) HBeAg(+) HBV-DNA(+) (05/1①) HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAg(+) HBeAb(-) HBcAb-IgG(-) HBcAb-IgM(-) HBV-DNA(+) (05/1②)	陽性(輸血後)	陰性			58単位 240単位 140単位	44/68	66本の原料血漿、9本の新鮮凍結血漿を製造。34本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を確保済み。	原料血漿32本使用済み。新鮮凍結血漿8本医療機関へ供給済み。
2005/1/27	2005/2/10	人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液	男	50	血液疾患	03/01- 04/03	HBsAg(-) (03/1)	HBsAg(+) (04/12①) HBsAg(+) (05/1②) HBsAg(+) HBeAb(-) HBcAb-IgG(+) HBcAbIgM(-) HBV-DNA(+) (05/1③)	陽性(輸血後)	陰性	ヴェングロブリン N、ポリグロビン N、ペニロン	620単位 56単位	78/98	94本の原料血漿、16本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は1本確保済み。	原料血漿は93本使用済み。新鮮凍結血漿はすべて医療機関へ供給済み	
2005/2/1	2005/2/15	人赤血球濃厚液	男	50	消化器腫瘍	04/09	HBsAg(-) (04/9)	HBsAg(+) HBcAb(-) (04/10①) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(+) (04/10②) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (05/1③)	陽性(輸血後)	陰性		6単位	1/3	5本の原料血漿、1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は確保済み。		
2005/2/4	2005/2/28	人赤血球濃厚液	男	60	血液腫瘍	04/12	HBsAg(-) HBsAb(-) (03/12①) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBeAg(-) HbeAb(-) HBV-DNA(-) (04/12②)	HBsAg(+) (05/02①)米国 HBV-DNA(-) (04/12②) HBV-DNA(-) (05/01③)	陰性(輸血前) 陰性(輸血後)	陰性		6単位	0/3	2本の原料血漿、2本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は全て確保済み。		
2005/2/4	2005/2/18	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	60	消化器腫瘍	04/09- 04/11	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(-) (04/09)	HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(+) (04/10①) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(+) (04/11②) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (05/01③) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) HBV-DNA(+) (05/02④)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性	患者死亡 GenotypeB、Subtype adw CP/PreC領域:e抗原 が産生できない変異 株 HBV-DNA量:2.9× 1010copies/mL 採血依頼に応じた3人 のうち1人から HBcAb(+)[EIA法] HBV-DNA(-) 供血者選及により HBcAb(+)となった者の 保管検体 HBcAb(+)[EIA法]	14単位	5/9	7本の原料血漿、4本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は2本確保済み。	新鮮凍結血漿は2本医療機関へ供給済み	

2005/2/10	2005/2/23	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	40	腫瘍	04/07	HBsAg(-) (04/7)	HBsAg(+) (04/12①) HBsAg(+) (05/1②) HBsAg(-) HBsAb(+) HBeAb(+) HBV-DNA(-) (05/2③)	陰性(輸血後)	陰性			2単位	0/1	1本の原料血漿を製造。 原料血漿は確保済み。	
2005/2/14	2005/2/23	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	70	血液腫瘍	04/11	HBsAg(+) (04/8①) HBsAg(-) HBsAb(-) HBeAb(-) HBV-DNA(+) (04/11②)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAb(+) (05/1①) HBV-DNA(+) (05/1②)	陽性(輸血後) 陽性(輸血後)	陰性			20単位	0/1	1本の原料血漿を製造。 原料血漿は確保済み。	
2005/2/18	2005/3/2	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿 人血小板濃厚液(放射線照射)	女	60	循環器疾患	05/02	HBsAg(-) HBV-DNA(-) (04/11)	HBsAg(+) HBsAb(-) HBV-DNA(-) (05/2)	陰性(輸血後) 陰性(輸血後)	陰性			2単位 6単位 6単位 10単位	0/8	8本の原料血漿、3本の 赤血球MAP、3本の新鮮 凍結血漿を製造。原料 血漿は全て確保済み。 新鮮凍結血漿は全て確	赤血球MAPは全て医療機 関へ供給済み
2005/2/22	2005/3/8	人血小板濃厚液 人赤血球濃厚液	女	70	血液腫瘍	04/04- 05/02	HBsAg(-) (04/3①) HBsAg(-) HBsAb(-) HBeAb(-) HBV-DNA(-) (04/4②)	HBsAg(+) (04/12①) HBsAg(-) HBsAb(-) HBeAb(-) HBV-DNA(+) (04/12②) HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAb(-) HBV-DNA(+) (05/2③)	陰性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性			240単 位 78単位	28/63	62本の原料血漿、18 本の新鮮凍結血漿を製 造。原料血漿は55本確 保済み。新鮮凍結血漿 は8本確保済み。医療機 関へ供給したもののうち 1本は回収。	原料血漿は7本使用済み。 新鮮凍結血漿は10本医療 機関へ供給済み。医療機 関へ供給したもののうち1本 は回収。
2005/2/22	2005/3/8	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	血液腫瘍	04/06	HBsAg(-) HBsAb(-) HBeAb-IgM(-) (04/5)	HBsAg(+) HBeAg(+) HBeAb(+) HBeAb-IgG(+) HBeAb-IgM(+) HBV-DNA(-) (05/1①) HBV-DNA(-) (05/2②)	陰性(輸血後) 陰性(輸血後)	陰性			20単位	2/2	2本の原料血漿を製造。 原料血漿は1本確保済 み。	原料血漿は1本使用済み。
2005/2/24	2005/3/10	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	50	血液腫瘍	03/04	HBsAg(-) (03/4)	HBsAg(+) (05/2①) HBsAg(-) HBsAb(-) HBeAb(-) HBV-DNA(-) (05/2②)	陰性(輸血後)	陰性	取り下げ症例		2単位	1/1	1本の原料血漿を製造。	原料血漿は使用済み。
2005/2/25	2005/3/10	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液	男	40	血液腫瘍	04/12	HBsAg(-) (04/10①) HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAb(+) HBV-DNA(+) (04/12②)	HBsAg(+) (05/2①) HBsAg(+) HBsAb(-) HBeAb(+) HBV-DNA(+) (05/2②)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性	取り下げ症例		70単位 10単位	7/12	12本の原料血漿を製 造。原料血漿は全て確 保済み。	
2005/3/7	2005/3/18	人血小板濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液	女	70	血液腫瘍	04/06	HBsAg(-) (04/5)	HBsAg(+) (05/3①) HBV-DNA(+) (05/3②)	陽性(輸血後)	陰性			25単位 10単位	3/3	3本の原料血漿を製造。	原料血漿はすべて使用済 み

2005/3/9	2005/3/23	新鮮凍結人血漿 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	消化器腫瘍	04/09	HBsAg(-) (04/8)	HBsAg(判定保留) HBcAb(+) (05/2①) HBV-DNA(+) (05/2②) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(+) (05/2③)	陽性(輸血後)	陰性			20単位 10単位	4/11	10本の赤血球MAP、9本の新鮮凍結血漿、2本の原料血漿を製造、原料血漿は全て確保済み。	赤血球MAP、新鮮凍結血漿はすべて医療機関へ供給済み
2005/3/10	2005/3/23	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	60	血液腫瘍	02/07	HBsAg(-) (02/4)	HBsAg(+) (05/2①) HBsAg(+) HBsAb(-) HBcAb(-) HBV-DNA(+) (05/2②)	陽性(輸血後)	陰性			2単位	1/1	1本の原料血漿と1本の新鮮凍結血漿を製造。	原料血漿は使用済み。新鮮凍結血漿は医療機関へ供給済み。
2005/3/15	2005/3/29	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	70	女性器腫瘍	04/12	HBsAg(-) (04/10①) HBV-DNA(+) (04/12②)	HBsAg(+) (05/2①) HBcAb-IgM(-) HBcAb(+) HBsAg(-) HBcAb(+) HBV-DNA(-) (05/3②) HBV-DNA(+) (05/3③)	陽性(輸血前) 陽性(輸血後)	陰性			4単位	0/2	2本の原料血漿と1本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は確保済み。	調査中
2005/3/17	2005/3/29	新鮮凍結血漿 人赤血球濃厚液	男	70	消化器疾患	98/06	HBsAg(-)	HBsAg(-) HBsAb(+)			保管検体19本についてHBV-NAT検査予定		26単位 12単位	調査中	調査中	調査中
2005/3/18	2005/3/29	人赤血球濃厚液 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液 人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	血液疾患	04/05- 05/01	HBsAg(-) (04/5)	HBsAg(+) HBV-DNA(+) (05/1①) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb-IgM(-) (05/1②) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) HBcAb-IgM(-) (05/1③)	陰性(輸血後)	陰性			14単位 26単位 120単位 290単位	44/61	55本の原料血漿、13本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は9本確保済み。	新鮮凍結血漿の4本は医療機関へ供給済み。
2005/3/22	2005/3/29	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	02/06	HBsAg(-) (01/12①) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) (02/4②)	HBsAg(-) (03/6①) HBsAg(-) HBsAb(+) HBcAb(+) IgM-HBcAb(-) HBV-DNA(-) (05/1②)	陰性(輸血後)	陰性		1-04000222で供 血者陽性であったた め、追跡調査で判明し た症例。(別紙・低濃 度キャリア感染事例)	10単位		1本の原料血漿を製造。	原料血漿は使用済み。
2005/3/24	2005/4/6	人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液 新鮮凍結血漿	男	60	消化器疾患	04/12- 05/03	HBsAg(-) (04/12)	HBsAg(+) HBV-DNA(-) (05/3)	陰性(輸血後)	陰性		死亡(多臓器不全、死 亡時肝炎の所見無し)	42単位 10単位 5単位	1/23	22本の原料血漿、5本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿は全て確保済み。新鮮凍結血漿は全て確保済み。	
2005/3/24	2005/4/6	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	80	消化器疾患	04/10	HBsAg(-) (04/4)	HBsAg(+) HBV-DNA(+) (05/3)	陽性(輸血後)	陰性			4単位	1/3	3本の原料血漿を製造。原料血漿は全て確保済み	

2005/3/25	2005/4/6	人血小板濃厚液(放射線照射)	男	60	血液腫瘍	03/11-04/07	HBsAg(-) HBsAb(+) (03/10①) HBsAg(-) (05/3②)	HBsAg(+) (05/3①) HBsAg(+) HBsAb(+) HBeAg(+) HBeAb(-) HBeAb(-) IgM-HBcAb(-) HBV-DNA(+) (05/3②)	陰性(輸血後)	陰性			130単位	12/13	13本の原料血漿を製造	原料血漿は全て使用済み
2005/3/25	2005/4/6	人血小板濃厚液(放射線照射) 人赤血球濃厚液 新鮮凍結血漿	女	<10	循環器疾患	05/02	HBsAg(-) HBsAb(-) (05/1)	HBsAg(+) HBsAb(+) HBeAb(+) IgM-HBcAb(-) (05/3)		保管検体25本についてHBV-NAT検査予定	ヴェノグロブリン-1H		40単位 20単位 20単位	5/25	25本の原料血漿、6本の新鮮凍結血漿、10本の赤血球MAPを製造。原料血漿の使用状況は調査中。新鮮凍結血漿は全て確保済み。	赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み
2005/3/28	2005/4/6	人赤血球濃厚液	男	50	消化器腫瘍	04/11-05/01	HBsAg(-) (04/11①) HBsAg(-) (05/1②) HBsAg(-) (05/2③) HBsAg(+) HBsAb(+) (05/3④) HBsAg(-) HBsAb(+) HBeAg(-) HBeAb(+) HBeAb(+) HBcAb(+) HBV-DNA(-) (05/3⑤)	HBsAg(-) HBsAb(+) HBeAg(-) HBeAb(-) HBeAb(+) HBcAb(+) (05/1)	陰性(輸血後)	陰性			16単位	0/8	6本の原料血漿、8本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿、新鮮凍結血漿は全て確保済み。	
2005/3/28	2005/4/6	人赤血球濃厚液(放射線照射)	男	80	腎疾患	04/10	HBV-DNA(-) (04/6①) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) (04/10②)	HBV-DNA(+) HBsAg(-) HBsAb(-) HBcAb(+) (05/1)		保管検体1本についてHBV-NAT検査予定			2単位	0/1	1本の原料血漿を製造。原料血漿の使用状況は調査中。	
2005/3/31	2005/4/12	人赤血球濃厚液(放射線照射)	女	80	骨折	04/09	HBsAg(-) HBsAb(+) HBeAb(+) HBV-DNA(-) (04/9)	HBsAg(-) (04/10①) HBV-DNA(+) (04/11②)		保管検体4本についてHBV-NAT検査予定			8単位	調査中	調査中	調査中

輸血によるHCV感染報告例(疑い例を含む。)

FAX受付日	報告受領日	一般名	患者性別	年齢	原疾患	投与年月	投与前検査(年月)	投与後検査(年月)	受血者個別NAT	献血者個別NAT	併用血液製剤等	備考	使用単位数	供血者再献血※	同一供血者製剤確保※	同一供血者製剤使用※
2005/1/7	2005/1/19	人赤血球濃厚液(放射線照射) 新鮮凍結人血漿	女	70	心疾患	04/7	HCV-Ab(-) (04/3)	HCV-Ab(+) (04/12①) HCV-RNA(+) (04/12②)	陽性(輸血後)	陰性			19単位 10単位	3/18	19本の原料血漿、5本の赤血球MAP、4本の新鮮凍結血漿を製造。原料血漿の14本、新鮮凍結血漿の1本は、確保済み。	原料血漿の5本は使用済み。赤血球MAPは全て医療機関へ供給済み。新鮮凍結血漿3本は、医療機関供給済み。供給されたうち未使用の3本は回収済み。
2005/1/19	2005/2/2	人血小板濃厚液HLA 人赤血球濃厚液(放射線照射) 人血小板濃厚液	女	80	血液疾患	04/6-05/1	HCV-Ab(-) (04/9)	HCV-Ab(+) HCV-RNA(+) (05/1)	陽性(輸血後)	陰性			325単位 2単位	24/34	34本の原料血漿を製造、原料血漿は全て確保済み。	